

2025 年 4 月 1 日

各位

株式会社大成商会
代表取締役 平岡琢磨

DX 取組宣言

1. はじめに

1945 年、兵庫県姫路市で、創業者平岡満は個人商店として大成商会を設立し、自動車部品の卸売りを始めました。

1966 年には法人化し、株式会社大成商会が設立されました。

2002 年、現代表取締役である平岡琢磨が入社し、同年自動車部品のネット販売を開始しました。

2003 年には海外の自動車部品の輸入を開始し、2010 年には海外事業部を発足させ、日本製自動車部品の輸出を始めました。

輸出事業のため世界 20 カ国を回る中で、現地パートナーと良好な関係を構築し、成長著しく親日国であるマレーシアに向けて中古日本車輸出事業に乗り出しました。

2023 年には、レンタカー事業を展開し、ユーザーの要望に応えるサービスを提供しています。

<経営ビジョン>

株式会社大成商会は、自動車部品のオンラインショップを立ち上げ、同業他社に先駆けデジタル技術を活用した新規ビジネスを展開してきました。

株式会社大成商会は、変化を恐れず、新しいことに挑戦する文化、データに基づいた意思決

定を行う文化を醸成し続け、これまでもこれから、変化する時代の最先端をめざし、野心的な目標を掲げ事業のさらなる高みを目指します。

＜ビジネスモデルの方向性＞

デジタル技術のますますの進化・深化は、顧客ニーズを高度化させます。当社はこれまで以上にデジタル技術を積極的に活用し、顧客中心のビジネスモデルを追求していきます。

2. DX 戦略概要

戦略① クラウドシステムの積極活用

クラウドシステムの活用により、

- 初期費用を抑えつつスピーディに事業を展開することで、ビジネスチャンスを逃さず新規サービスを提供し、事業の拡大を図ります。
- 場所を選ばないビジネス展開が可能になることから、事業のさらなるグローバル化を推進します。
- データ活用やデジタル技術に関する知識やスキルを持つ優秀な人材の確保のため、勤務地を選ばない働き方を提供します。
- 自然災害による業務資料やデータが失われるリスクを低減します。

戦略② API 連携と RPA や Python による業務の自動化

各クラウドサービス間でのデータ共有を図り、定型・反復的な業務を自動化することで、

- データ共有の自動化により手作業によるデータ入力の手間やミスをなくし、生産性を向上させます。
- 常に最新のデータを共有することで、迅速な経営の意思決定を行います。

戦略③ 社内業務における IT 技術の積極活用

- グループウェアの活用による社内の情報・文書の共有、コミュニケーションの円滑化、業務プロセスの標準化を図ります。
- ペーパーレス化によるコスト削減、業務の効率化、セキュリティの強化、環境への貢献を

図ります。

- 自社 EC サイトの受注情報の一元管理を行います。
- 社内プラットフォームによる労使間コミュニケーション体制を強化します。

戦略④ 顧客満足度の向上

- 最先端のデジタル技術をいち早くサービスに取り入れることで、高度化する顧客ニーズに対応し、顧客体験・顧客満足度を向上させます。
- 顧客情報データベースを活用し、お客様の趣味嗜好を踏まえた商品提案を行います。

戦略⑤ データドリブンな経営

- AI を活用した需要予測や価格最適化を行うことで、収益性を向上させます。
- AI を活用したリスク分析ツールを導入し、為替レートや規制、および政治・経済状況などの変動を予測することで、市場リスクを早期発見し、事業の安定性を高めます。

3. DX 推進体制

・当社代表取締役を総括責任者とし、グループ会社（パーツキング有限会社）も含め、「DX 推進チーム」を設置し、DX 戦略の策定と実行、デジタル人材の育成・確保を行います。「DX 推進チーム」メンバーには、社内から DX に意欲のある者を入社年次問わず任命し、外部のセミナーや研修への参加を支援します。

4. デジタル環境整備

(1)クラウド環境の最適化とセキュリティ強化

DX 戦略概要の「戦略①クラウドシステムの積極活用」を推進するため、クラウド環境の基盤を整備します。

- 最適なクラウド環境の構築: 業務内容に応じたクラウドサービスの導入により、

柔軟でスピーディな事業展開とコスト効率化を実現します。

- クラウドセキュリティの徹底: 情報漏洩やデータ損失を防ぐため、クラウド上でのアクセス制限厳格化、多要素認証導入、定期的なセキュリティチェックを徹底し、サイバー攻撃や災害から重要データを守ります。

(2)データ連携基盤の構築とデータ管理体制の確立

DX 戦略概要の「戦略②API 連携と RPA や Python による業務の自動化」と「戦略⑤データドリブンな経営」の実現に向け、データの連携と活用を促進する基盤を整えます。

- API 連携の効率化: 複数のシステム間でデータを自動連携できるよう、API 管理ツールを導入。手作業によるデータ入力の手間やミスをなくし、生産性を向上させます。
- 全社データの集約と分析基盤の構築: 社内に散らばる多様なデータを集約・整備し、常に最新のデータに基づく迅速な経営判断を可能にします。
- データ活用ルールの整備: データの品質確保、安全な取り扱い、プライバシー保護に関する明確なルールを策定し、全社で統一運用。データに基づいた経営の信頼性を高めます。

(3)デジタルワークプレイスの推進

「戦略③社内業務における IT 技術の積極活用」および「戦略①クラウドシステムの積極活用」による「勤務地を選ばない働き方」を実現します。

- 円滑な情報共有ツールの導入: グループウェアに加え、オンライン会議やチャットなど、コミュニケーションを円滑にするツールを導入・活用。情報共有と業務効率化を促進し、場所にとらわれない働き方を支援します。

- リモートワークのセキュリティ強化: 社外からのアクセスも厳しくチェックするゼロトラストセキュリティモデルを導入し、安全なリモートワーク環境を確保します。

(4)先端技術の導入と検証体制の整備

「戦略④顧客満足度の向上」と「戦略⑤データドリブンな経営」を強力に推進するため、将来を見据えた先端技術の導入と検証を行います。

- AI 活用の基盤整備: AI を使った需要予測、価格最適化、リスク分析をスムーズに行うシステムを導入し、業務効率化と収益性向上を目指します。
- DX 推進チームの設置と試行環境の整備: 最新のデジタル技術を調査し、事業応用を検討する専門チームを設け、新技術を試す環境を整備。顧客ニーズに対応した新サービス開発を迅速に進めます。

5. 達成状況をはかる指標

DX 戦略	指標	時期・目標値など
(1)クラウド環境の最適化とセキュリティ強化	主要業務アプリケーションのクラウド移行の完了	2028 年度末までに完了
	クラウドセキュリティ対策（アクセス制限厳格化、多要素認証導入）の実施	2027 年度までに実施
(2)データ連携基盤の構築とデ	API 管理ツールの導入と主要	2027 年度末までに完了

データ管理体制の確立	システム間の API 連携の完了	
	データ品質確保、安全な取り扱い、プライバシー保護に関するデータ活用ルールの策定と全社展開	2026 年度末までに完了
(3)デジタルワークプレイスの推進	グループウェアの主要機能（情報共有、スケジュール管理など）の利用	2027 年度中期までに完了
	場所にとらわれない働き方の実現度	妊娠出産・育児・介護・遠隔地居住などの事情から出社困難な労働者からのリモートワーク希望申出に対して全件承認
	ペーパーレス化率	2026 年度前年度比 60 パーセント
(4)先端技術の導入と検証体制	EC サイト売上増加率	2027 年度末までに EC サイト売上の 20%増
	AI を使った需要予測、価格最適化、リスク分析をスムーズに行うシステムを導入	2027 年度末までに導入

6. トップメッセージ

株式会社大成商会は、昭和 20 年の設立以来、80 年の歴史を通じ純正自動車部品・優良自動車部品の商社として、日本自動車産業の発展を支えてきました。

私は 2003 年に当社に入社し、EC 事業部の立ち上げ、海外への販路の拡大と業態を大きく変革しました。

この変革の基礎となったのがデジタル技術の進展です。

当社は、同業他社に先駆けて、デジタル事業に挑戦し続けています。

今後も DX を活用した新たなビジネスモデル、新たなサービスを開拓し続けます。

それを可能にするのは、変化を恐れず、新しいことに挑戦する企業文化です。もちろん挑戦はいつも成功を約束するものではありません。

しかし、当社はお客様のお役に立てる会社であるよう、今後も加速度的に進む市場変化に取り組み、自動車産業の新しい価値を見出していくことに全力を注いでまいります。

同時に、その取り組みを支える従業員の就労環境の整備、人材の育成と確保を積極的行います。

株式会社大成商会 代表取締役 平岡琢磨